



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日
東

上場会社名 株式会社アンビスホールディングス 上場取引所
 コード番号 7071 URL <https://www.amvis.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役 CEO (氏名)柴原 慶一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 CFO (氏名)中川 徹哉 (TEL)03(6262)5105
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	6,660	63.2	1,513	49.5	1,575	63.6	1,113	64.2
2020年9月期第2四半期	4,082	—	1,012	—	963	—	678	—

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 1,113百万円 (64.2%) 2020年9月期第2四半期 678百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	49.03	47.94
2020年9月期第2四半期	30.44	29.44

(注) 1. 2020年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については、2019年9月期第2四半期の四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	27,680	14,822	53.5
2020年9月期	16,519	5,255	31.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 14,822百万円 2020年9月期 5,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,417	57.1	2,619	39.5	1,857	49.9	79.47

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、対前期増減率については遡及適用後の数値を用いて算定しております。
 3. 2021年3月9日付で公募による新株式発行を行っており、これによる増加株式数を含めて1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	24,022,000株	2020年9月期	22,522,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	146株	2020年9月期	120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	22,711,426株	2020年9月期2Q	22,272,783株

- (注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,335	11,096
売掛金	1,978	2,480
たな卸資産	4	5
その他	455	494
貸倒引当金	△19	△19
流動資産合計	5,754	14,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,548	6,941
機械装置及び運搬具（純額）	5	5
工具、器具及び備品（純額）	70	84
リース資産（純額）	3,213	3,156
土地	853	1,149
建設仮勘定	2,065	995
有形固定資産合計	9,757	12,332
無形固定資産		
のれん	23	15
ソフトウェア	1	0
その他	7	18
無形固定資産合計	33	33
投資その他の資産		
敷金及び保証金	718	881
繰延税金資産	160	160
その他	109	161
貸倒引当金	△24	-
投資その他の資産合計	963	1,203
固定資産合計	10,754	13,570
繰延資産		
株式交付費	11	52
繰延資産合計	11	52
資産合計	16,519	27,680

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	27	37
短期借入金	1,345	644
1年内返済予定の長期借入金	597	1,806
リース債務	76	74
未払金及び未払費用	686	771
未払法人税等	472	486
賞与引当金	235	226
その他	144	124
流動負債合計	3,585	4,170
固定負債		
長期借入金	4,307	5,297
リース債務	3,223	3,185
繰延税金負債	23	23
資産除去債務	109	159
退職給付に係る負債	2	4
その他	11	17
固定負債合計	7,679	8,687
負債合計	11,264	12,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,540	5,834
資本剰余金	1,510	5,804
利益剰余金	2,204	3,182
自己株式	△0	△0
株主資本合計	5,255	14,822
純資産合計	5,255	14,822
負債純資産合計	16,519	27,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	4,082	6,660
売上原価	2,294	4,168
売上総利益	1,788	2,492
販売費及び一般管理費	775	979
営業利益	1,012	1,513
営業外収益		
受取利息	0	0
補助金収入	2	118
償却債権取立益	2	4
違約金収入	-	10
その他	0	3
営業外収益合計	6	136
営業外費用		
支払利息	54	68
その他	1	4
営業外費用合計	55	73
経常利益	963	1,575
特別損失		
固定資産除却損	1	-
特別損失合計	1	-
税金等調整前四半期純利益	962	1,575
法人税等	284	462
四半期純利益	678	1,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	678	1,113

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	678	1,113
四半期包括利益	678	1,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	678	1,113
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	962	1,575
減価償却費	109	222
のれん償却額	8	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11	△9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△24
受取利息	△0	△0
支払利息	54	68
補助金収入	△2	△118
固定資産除却損	1	-
売上債権の増減額(△は増加)	△314	△502
たな卸資産の増減額(△は増加)	△0	△0
その他の資産の増減額(△は増加)	13	4
仕入債務の増減額(△は減少)	4	9
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	75	81
その他の負債の増減額(△は減少)	△4	△6
その他	0	4
小計	895	1,312
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△54	△69
補助金の受取額	2	118
法人税等の支払額	△159	△535
営業活動によるキャッシュ・フロー	684	826
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,781	△2,748
無形固定資産の取得による支出	-	△10
敷金及び保証金の差入による支出	△197	△182
敷金及び保証金の回収による収入	4	0
その他	-	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,974	△2,932
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	455	△701
長期借入れによる収入	200	2,925
長期借入金の返済による支出	△93	△726
リース債務の返済による支出	△36	△39
株式の発行による収入	3,001	8,542
配当金の支払額	△60	△135
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,466	9,865
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,177	7,760
現金及び現金同等物の期首残高	452	3,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,630	11,096

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社普通株式の2021年3月9日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,294百万円ずつ増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が5,834百万円、資本剰余金が5,804百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当社における固定資産に係る控除対象外消費税等の会計処理については、従来、発生した連結会計年度の費用に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より個々の固定資産の取得原価に算入する方法に変更いたしました。この変更は、事業所の開設スピードを重視したことにより開設方式としてリースではなく自社建築を選択する件数が増加したことから、主に建築価額に係る控除対象外消費税等を個々の固定資産の耐用年数にわたって費用配分することで、収益と費用をより精緻に対応させ当社グループの経営実態をより適切に四半期連結財務諸表及び連結財務諸表に反映するために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については、遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表は、有形固定資産が57百万円増加、投資その他の資産が1百万円減少、固定負債が16百万円増加しております。前第2四半期連結結果計期間の四半期連結損益計算書は、売上原価が0百万円増加、販売費及び一般管理費が18百万円減少したことにより、営業利益、経常利益、税金等調整前当期純利益はそれぞれ17百万円増加し、親会社株主に帰属する当期純利益は12百万円増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、連結貸借対照表の利益剰余金の遡及適用後の期首残高は、4百万円増加しております。